



NIPPON BEARING

11月25日付 日本経済新聞広告 『かくれ雑学』詳細

【バスケットボールのゴールは 桃の籠だった】

世界で、最も競技人口が多く、人気の高いスポーツの一つであるバスケットボール。その魅力は、『場所を選ばず』『形式的では無く』『誰でも楽しめること』でしょう。特別な設備が無くてもゴールだけ用意すれば、そこはあっと言う間にバスケットボールを楽しめる空間になります。

また、熱狂的なファンも多いバスケット観戦では、選手の華麗な技とパフォーマンスが観客の心を魅了します。中でもシュートは、最も華やかで人々の記憶に残る瞬間でもあります。

1891年、健康的に体を動かして、活発でやりがいのある競技を作り出そうと考案されたゲームは、ゴールに【桃を入れる籠（バスケット）】を使った室内ゲームでした。

これがバスケットボールの始まりです。

その後、この競技はすぐに若者たちの間で広まり、ゴールにネットを吊り下げた形へと改良されていきます。

形にこだわることなくゲームを楽しめることを優先する、そんな姿勢が、【桃の籠】にも表れているのかもしれませんが。

機械部品の中で最も多く使用されている部品の一つと言えるベアリングは、機械界のバスケットボールの様な存在かも知れません。

NB【ゴニオウェイ】は、直動製品メーカーである日本ベアリングの中で、唯一の、曲線運動をする製品です。

その滑らかな動きは、バスケットボールの華麗なシュートが描くボールの軌道にも似ています。バスケットボールでは、パスなど直線的なボールの動きが多いのですが、シュートは曲線の方がゴールの確率は高くなります。

直動製品メーカーでありながら、直動で培った技術を惜し気もなく曲線運動製品にも発揮する。どのような機械にも対応できるように進化し続ける姿は、形式にとらわれないバスケットボールの精神にも通じるものがありますね。

【企画・協力：㈱学研エデュケーショナル】